

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 514 2016.01 >

BULLETIN

2015年7月～2016年6月



国際会長 【Mission with Faith:信念のあるミッション】Wichan Boonmapajorn(タイ)
アジア会長 【Through Love Serve:愛を持って奉仕をしよう】Edward K W Ong(シンガポール)
東日本区理事 【原点に立って、未来へステップ】渡辺 隆理事(甲府クラブ)
関東東部部長 【チェンジ】鈴木雅博部長(東京江東クラブ)
クラブ会長 【皆仲良く 楽しく 奉仕を】青木方枝 東京グリーンクラブ会長

会 長 青木 方枝
副 会 長 西澤 紘一
副 会 長 目黒 卓
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
会計補佐 平林 正子
担当主事 小野 実

1月 新年、1月1日がイエスさまの命名日
八日たって割礼の日を迎えたとき幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。
<私たち一人一人も両親から名前をつけていただきました。神さまも私たち一人一人を大切に覚えてくださっていることを信じて、心豊かな年をスタートしましょう>
(ルカによる福音書 2:21)

2016年1月 三クラブ合同新年例会

～2016年 新年を迎えて～

日時:2016年1月20日(水) 18:30～21:00
場所:千代田区泉橋区民館 3階和室
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:平林君/会計:柿沼君/司会:目黒君

～～プログラム～～

開会挨拶・点鐘 東京グリーンクラブ 青木会長
ワイズソング・ワイズ 全 員
聖句・お祈り 古 平 君
ゲスト・ビジター紹介 青木会長
乾杯・挨拶 東京ひがしクラブ 鮎澤会長
会 食

紹介青木会長

<踊り> 櫻川流・江戸芸 かつぼれ
櫻川后姫さん社中

～ ゆっくり、召し上がりながらお楽しみください～

各クラブ・アピール(ビジターからのアピールもどうぞ)
YMCA 情報 小野 君
ドライバー 浅見ク君
閉会挨拶・点鐘 東京北クラブ 磯部会長

会長 青木方枝

年が明け 皆様は、如何お過ごしでしたか？

昨年は、頑張ってスタートしましたが、公私共余り良くありませんでした。

私的には、主人が病院通い、元気が取り柄だった私が入院、手術と・・・

車で言えば中古車でどうもガタがきた様です。

公の方では、クラブメンバー2名が仕事の都合で例会に出られなくなりそれぞれ1年、3年の休会、そして、昨年末には我がクラブの重鎮で「神田川船の会」会長林福松メンの突然の訃報、本当に寂しく悲しいことでした。クラブ唯一の地域奉仕事業神田川船の会を永年にわたり指導して下さった功労者である林 福松メンを偲ぶ会をクラブで企画したいと思ってます。皆さんの感謝の気持ちを伝えましょう。

後期、半年ありますが、気持ちを切り替えてクラブ及びワイズの行事、事業に積極参加し頑張るつもりです。どうぞ、引き続き ご協力、ご支援を宜しくお願いします。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 1名 出席率 13/17 76%

出席:12月例会 (メン12名、メネット1名、ゲスト1名)計14名

【ニコニコ】 12月例会 15,000円 / 累計 86,600円

<2015年12月 クリスマス例会報告>

日時:2015年12月16日(水)18:30~20:30

場所:和泉橋千代田区民館2階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・小野・柿沼・古平・佐野
西澤・布上(征)布上(信)・林・平林・目黒
ゲスト:林繁一氏(神田川船の会サポーター)
(ゲスト1名、メン12名、メネット1名、計14名)



本日はいつもの秋葉原千代田区民館例会場を使ってクリスマス例会を開催した。プログラム委員会の企画でこじんまりと、ゆったり、和気藹々のパーティーとなった。ケータリングのオードブル、近くの「万世」で購入した名物・サンドイッチ、持ち寄りのワイン・お酒・焼酎、購入したビール、ソフトドリンクなどがテーブルに並べられた。

プログラム委員長・目黒メンの司会で始まり、青木会長の開会点鐘・挨拶、讃美歌「もろびとこぞりて」を皆で斉唱、古平メンの聖句とお祈り、食前の感謝、順調に進みゲスト林繁一氏の乾杯で会食になる。



メンバー全員、「私のクリスマス」又は「私の歳末」などのテーマで2~3分のショートスピーチ……今思えば昨年末に亡くなった林福松さんが、ニコニコ献金のほかにわざわざ千円札を追加抛出してスピーチ時間の延長を申し出られ、近況のお話をされたのが心に残っている。



各自が持ち寄ったプレゼント品をくじ引きで当たり順に頂くイベント、外れはないものの、金額にして1500円程度、中身がわからずに選ぶので福袋を買う気分。Happy Birthdayは浅見(ク)メンと西澤(メネット)に進呈。ニコニコ合計は15000円でした。(布上 記)

<2015年12月 第二例会報告>

日時:2015年12月9日(水)18:30~20:30

場所:和泉橋千代田区民館4階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・布上・林・目黒

報告・連絡事項(12月ブリテン記載)

- *11月22日(日) 伊東クラブ40周年記念例会
出席者:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・佐野
- *11月28日(土) 東日本区メネット会 熱海
出席者:青木・塩入(淑)・布上(信)

審議・協議事項

- *12月16日(水) クラブ クリスマス例会
会場:和泉橋千代田区民館2階 18:30~21:00
ケータリングオードブル(大新へ発注)、ワイン・ビール・お酒・ソフトドリンク・アイスなどの購入
簡単な飾りつけ/プレゼント交換/進行協議
- *12月23日(水・祝) 東京YMCA Xmas
オープンハウス 模擬店出店/バザー出店
フランクフルト(昨年同様250本発注済み)
- *2016年1月9日(土)在京ワイズ新年会&会長会
桜美林大アカデミーヒルズ 11:30~受付開始
(その前に会長会開催) @5000-
参加予定者:青木・浅見(隆)・浅見(ク)
小野・柿沼・佐野・布上(征)・布上(信)
- *2016年1月20日(水)三クラブ合同新年例会
会場:和泉橋千代田区民館3階 和室
18:30開会 会食とかっぱね鑑賞(青木会長友人)
北クラブと東京ひがしクラブとで合同新年例会

*クラブ入会勧誘チラシ作成 柿沼メン原案

- *関東東部CS事業資金 申請したい(50000円)
神田川船の会では千代田区、中央区の親子学習
招待が増え、その乗船資金に充当したい。

【例会卓話予定者】

- *2016年2月 上原道康氏 柿沼メン紹介
演題は「健康な高齢者であるために」
プロフィール
元大手製薬会社で製品開発・市場開拓を担当
退職後「健康と食生活を考える会」を設立
食事療法コンサルタント 食生活ジャーナリスト
健康と食生活を考える会代表幹事
日本成人病予防協会認定講師
埼玉県食の安全県民会議委員
情報誌として「健康美容ニュースbyミッチー・ウェリー」
を月2回発行(平成28年1月号で459号発行済)

- *2016年3月 小山久恵さん
タイトル「BF代表 オーストラリアの旅」
プロフィール
東京サンライズクラブ
1989年チャーターメネット、2002年入会
クラブ会長2回
東日本区地域奉仕事業主任経験、現在LT委員
- *4月/5月の卓話者を募集しています

(布上 記)

東京YMCA クリスマス

オープンハウス&バザーに参加して

2016年12月23日(水・祝)東京 YMCA 恒例のクリスマスオープンハウス&バザーが盛大に開催された。



YMCA 東陽町センターのアトリウム、ウエルビーを会場に各クラブそれぞれ趣向を凝らした模擬店を展開、例年通りではあるが、前年の反省を踏まえて多少の変化も見て取れる。実際、グリーンクラブ男性陣担当模擬店の場合、フランクフルト焼き(250本)と甘酒(10パック)販売では、前年、ともに午後2時ころには完売したため、今年も数量も価格も同じにした。参加メンはフランク焼き、甘酒販売に頑張り、さらに浅見さんの知人で石黒さん親子がボランティアで手伝いに参加してくれたりしたおかげで予定通り午後2時ごろにはすべて完売、模擬店の成績は売上金額45300円、利益(献金額)19600円の好成績で終了した。模擬店の参加は浅見(隆)・小野・柿沼・佐野・布上5名。

(ここで完売の手拍子、三三七 シャン・シャン!)

一方、ウエルビーの女性バザー担当陣からは以下の報告をもらった。

《バザー奮闘記:今年も青木会長から人気のスリッパ、柿沼メネットからは数か月前から準備された数々の手作りの布バッグ類、上谷伸子メネットは手作りのクッキー、パウンドケーキ、塩入メネットから数々のお品、浅見クミ子メネットは古布の提供、私からは自家製の赤飯…などを並べ、朝10時前には準備完了、早めのスタートでなんと午後2時ころには完売してしまいました。売上金は39,850円となりました。皆様へ感謝申し上げます。

バザーでのグリーン参加は青木・浅見・塩入・平林・布上の5名でした。布上(信)メネット 報告》

模擬店、バザーの閉店後はお楽しみ「ラッフル抽選会」。参加していただいた老若男女の皆さんに獲得してもらい喜んでくれればいいのです。すべてが終わり、疲れを癒しましょうと門前仲町で夕方のミニ懇親会を持ちました。本日丸一日、お疲れさまでした。(布上(征) 記)



フリテン試写室

第26回映画 紹介「母と暮らせば」

(2015年12月12日公開)山田洋次監督作品

1945年8月9日、プルトニューム型の原爆が長崎に投下された日から物語が始まる。その悲劇の3年後の命日、当時医学生であった息子浩二(二宮和也)を原爆で無くした母伸子(吉永小百合)の夢枕に、息子が現れる。浩二は、「母さんは諦めが悪いからなかなか出て来れなかったんだよ」と言いつつ、その後時々伸子の下に現れて他愛の無い親子の会話を長崎弁で楽しんでいた。2人の会話の最大関心事は、浩二の恋人町子(吉永小百合)のことであった。当初、浩二は町子が自分との思い出を守り何時までも独身でいることに感謝していた。しかし時が経つに従って、「何時かあの子の幸せを考えなきゃね」と思うようになる。浩二が「もしも自分より優れた男が現れたら、僕は彼女の結婚を許すよ。しかし絶対にそのような人は現れないと思うよ」と強がりを通す。町子は小学校の教諭として独立しつつ浩二の母伸子の世話を精一杯やっていた。町子も、あの



日8月9日、友達3人と長崎の中心にある工場での勤労奉仕に勤めていた。たまたま町子は、腹痛で休暇を取っていて原爆の直撃を免れた。その後、その友人の母親から「うちの子も貴方のように仮病を使って休めば良かったの

よ」と責められて、生き残ったことへの苦しさを味わっていた。そして時が経ったある日、小学校の同僚で戦地帰りの黒田先生との出会いがあり悲劇を共有できる相手と巡り会い町子は次第に彼に惹かれて行く。一方、伸子も浩二と共に「町子さんの幸せを願うことは自分たちとの関係を切ることはない」と悟り、町子が黒田との結婚を報告に来た時には、許せるようになってゆく。

ある日、浩二が「もうお母さんの下には来れないかも知れない」と告げる。母は「どうして」と問い返すと、浩二は、優しく微笑みながら「だって、お母さんが僕の所に来てくれるから」と答える。そしてそのまま、母と子が手を取り合って天国に昇ってゆくラストシーンは感動的である。背景にエキゾチックな長崎の町、天主堂、讃美歌、十字架のある墓地、伸子の祈りなどキリスト教のバックボーンが映画全体を引き締めており気持ちよく物語に溶け込める。

井上ひさし氏のヒロシマをテーマにした戯曲「父と暮らせば」を基に、山田洋次監督が「母と暮らせば(講談社2015年11月)」に翻案・書きおろした作品である。この作品は、戦後70年目の夏(7月上旬)に完成し、この年を締めくくるにふさわしい感動的な反戦映画となった。井上ひさし氏、山田洋次氏等が描き出すファンタジーの中に込められた強烈な反戦思想が、映画を観終わったときにじわっと心の中から湧き上がってくる。我々戦後世代のアイドル吉永小百合と現在の若者の象徴であるグループサウンズ「嵐」のメンバーである二宮和也が共演していることも魅力のひとつであろう。(西澤紘一 記)

林さんとの最後の打ち合わせ・・・

2015年4月から、前任の倉島氏より引き継ぎ、東京グリーンクラブの担当主事となりました。グリーンクラブといえば神田川船の会。その活動を始めた林福松氏が昨年末に亡くなられました。大変大きなショックを感じています。

亡くられる約1週間前の12月17日、青木会長、林氏、稲垣氏、東京YMCA 廣田総主事と担当主事小野の5名で、神田川船の会について話し合う機会がありました。
・神田川船の会は東京YMCA 主催で行う意義がある。
・会の実施については、東京グリーンクラブの協力が不可欠である。
・会運営にかかる組織力強化をそれぞれで行う努力をする。

といった確認がされました。東京YMCAが船の会を継続して主催していくことのあらためての確認がされたことで、林氏の表情がとても柔らかく見えた気がしました。会が終わって2階にある総主事室から出たところ、現在本部に勤務するかつてのグリーンクラブ担当主事であった山添仰氏、星野太郎氏とも何年振りかの挨拶を交わしました。「山添さんは10月に船の会やってくれたね、お疲れさま。星野さんは久しぶりだねえ、元気かい？」などと笑顔でお話をされました。

皆で玄関まで一緒に歩きだそうとしたところ、林氏はサッと制止して「君らは忙しいんだから、いいんだよ！ほら、行くぞ」と青木会長と稲垣氏を連れて階段を下りて行かれました。階の上からお見送りをすることになってしまいましたが、3人が階段の踊り場を曲がる時、青木会長はいつもの華やかな笑顔で『じゃーね！』のポーズ、稲垣氏もちらりはこちらをご覧になりましたが、林氏は一度もこちらを振り向かれることはありませんでした。さようならの後には振り向かない、林氏の心配りであったと思います。その後ろ姿が林氏を見た最後になりました。

神田川船の会をライフワークとして牽引してこられた林氏の喪失は大変大きいですが、神田川船の会への想いを共有した者同士が協力して、どのように継続していくか考えなくてはなりません。募集の強化、ガイドの養成、運営ボランティアの確保など、課題は多くあります。引き続き東京YMCAとグリーンクラブ協働で、神田川船の会のメッセージを伝えてまいりましょう。

林氏のご冥福を心からお祈りいたします。(小野実 記)



平成27年12月26日
林福松氏が急逝されました。80歳です。「神田川船の会」事業を立ち上げ、推進、牽引されてきた偉大な存在でした。残念です。林さんのガイド名調子はもう聴くことができません。

